



## 七夕まつり

中国から伝わった織姫と彦星の「星伝説」と、書道や裁縫の上達を願う風習「乞巧奠<sup>きこうでん</sup>」に、日本の「棚機女<sup>たなはたつめ</sup>」が神様のために着物を織る神事が合わさって、今日に伝えられている行事です。今年の7月7日は、織姫と彦星が無事に会えるでしょうか。夜空を見上げ天の川を探しましょう。

## ぷーるあそび



夏の楽しみは、なんとといっても子どもたちの心を開放し、楽しい気持ちにさせてくれるプールあそびです。新型コロナウイルス感染予防のため、プールの消毒や、手洗いというが、プールに入る人数も制限しながら、細心の注意を払いながら行っていきます。お子様の体調が悪い場合はご遠慮いただければと思いますのでご理解のほどよろしくお願いします。



以下のようなことが見られる時は、プールに入れませんので、ご注意ください。

- ・目、鼻、耳に疾患のある場合（結膜炎、中耳炎などですが、慢性の中耳炎などは医師の診断を仰いでください。）
- ・伝染性疾患の場合（とびひなど）
- ・発熱、下痢、風邪やうみを持った外傷、その他医師から禁止されている場合。



## 令和3年 7月の園だより



くまの・みらい保育園

## お泊り保育



### 異年齢の関わりの大切さ

しばらくは広島市でも感染者が増え、熊野町でも数名出て心配しておりましたが、やっと少なくなってきましたので園開放や一時預かり保育も再開しました。朝の保護者の方の検温にもご協力いただきありがとうございました。手指消毒、マスクの着用など引き続き感染予防対策を宜しく願います。

コロナ禍の中、毎週火曜日にホールで行っていた朝礼を、しばらく園庭でやっています。ピアノがない、広い園庭でどんな形で行ったら楽しいか、職員も試行錯誤しています。歌の伴奏に、ギターや鍵盤、リコーダーなどの楽器がでてきており、子どもたちは今日は先生たちどんなことをしてくれるのだろうと、わくわくして集まっています。先日は年長のお当番チームが、体操の先生になり、前に出てきてくれました。「私は年少さんの先生」、「僕は年中さんの先生」と、自分たちで決めて体操していたのです。みんなのお手本ともなると、手足の力の入れようも違い、かっこよく体操している姿にとっても頼もしく思いました。さすが年長さんです。朝礼後、火曜日は異年齢でたっぷり遊ぶ日とし、園庭のあそびを広げています。遊び方は年齢によって違いますが、そのゾーンで異年齢であそぶ中で、考えたり工夫する姿があり、その子の素敵な一面を見ることができ、子どもの育ちに驚かされることがあります。個々の成長の発達段階に応じて、一人ひとりが自分のやりたいことを満足するまでできる環境設定と、ゆったりした時間の確保こそ重要なのではないかと感じて取り組んでいます。異年齢で関わることで、大きい子は小さい子に優しくかわわり、役に立っているという満足感が生まれ、小さい子には頼る人がいる安心感が生まれ、お互いにメリットがあります。それがあそびの中で自然にできている場面に出会うことも度々あります。乳児園庭に4歳児さんが遊びに行った時、砂場にお山を作り、水を流すあそびをしていると、赤ちゃんたちも興味深々。「なに

してるんだろう。」とのぞいてきました。乳児さんがあそびの中でお山を壊してしまっても、同じクラスの子と遊んでいれば怒ってしまう子が、「もう1回つくろうか。」と優しく関わってくれたのです。先日のカレーパーティーも、年長さんが中心になって、準備をしてくれ、乳児クラスにも給食のお手伝いに行ってくれました。不思議とお兄ちゃんお姉ちゃんに食べさせてもらおうと、嬉しそうに食べるのです。嫌いなお野菜も食べてしまう、異年齢の関わりは不思議な力を持っています。年長さんには「ありがとうね。助かったよ。」としっかり褒めました。こうして年長さんも自信をつけていくのです。ご家庭でもお子さんのいいところ、助かったことはしっかり褒めてあげて下さい。だめと否定されて育った子は、否定的な感情で周りを見てしまい、不満を他者に向け始めてしまいます。保護者の方も肯定的な言葉をかけてあげてください。子どもたちには相手を認め、行動できる子に育てほしいと願っています。それができるのが異年齢保育のいいところです。今後は園内でも異年齢で交流して遊べるゾーン作りをしていきたいと考えています。

今月の終わりにはお泊り保育があります。年長さんは今、お泊り保育に向けて、わくわくしています。「持っていくものや朝からどんなことをするかを書いてみよう。」「私注意すること言うね。」と注意事項を教えてくれる子もいます。「本にしたらいんじゃない?」と子どもたち同士で対話をしながらしおり作りが始まっているのです。誰かに言われたのではなく、自分たちで考えて決めて、お泊りに向かってのわくわく感が高まっています。また、夏まつりに向けても、楽しい企画を話し合っていて決めています。コロナ禍の中、行事についてもそのたびに見直しています。年長のリーダーシップを育みながら、園全体で異年齢で関わり、子ども主体の楽しい保育に向けて暑い夏も楽しんでいきます。 くまの・みらい保育園 園長

順源会山の家で年長組さんは、第二みみょう保育園さんと一緒にお泊り保育に行きます。自然の探索、第二みみょう保育園の子どもたちと交流をしながらあそんだり、野菜の収穫、大自然の中で体をしっかり使って楽しみます。夜は、キャンプファイヤーをしたり、ゲームをしたり、大きなお風呂に入ってぐっすり眠りにつきます。普段とは全く違う環境の中で、みんなで協力し合う貴重な経験をたくさんして欲しいと思います。

### きょうはなにしておぼろう!



はしごをタイヤにのせたよ~!



わたってみたい!やってみよう!!

意欲 3段重ねのタイヤにも挑戦!!



どうやったらうまく流れるのかな?

どろだんこに色をつけよう。お姉ちゃんたちこうやってたよね

### 探求心

2つの色が混ざって、違う色になったよ!違う色もやってみよう!



砂に色を付けよう



泡の出るジュース作りに挑戦。どうやったらうまくいくかな?

目標に向かって頑張る力

遊びながら様々な力が育っています